

### ボルグワーナー、国際モビリティ見本市「IAA Mobility 2023」で

#### 新コーポレート・アイデンティティを披露、合わせて

#### eMobility(電動化)向けの革新的ソリューションを展示

- 車両電動化ソリューションと充電インフラの先進的な製品ポートフォリオを紹介するブース
- ボルグワーナーの進化を象徴する刷新されたブランドイメージ
- 出展はホールA2、ブースB11

革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frederic B.Lissalde)は、2023年8月22日、自動車メーカーの電動化シフトをサポートすることにより好評を博し続けている革新的な製品群を、国際モビリティ見本市の「IAA Mobility2023」内のホール A2、ブース B11 において展示予定です。2023年9月5日から8日にかけてドイツ・ミュンヘンで開催される同見本市での見どころは、eMobility(電動化)への移行に向けた戦略目標の進展と、効率の高い技術ソリューションの進化です。また、ボルグワーナーの新しいブランドイメージに、より多くの関係者が触れられること、将来の電動化戦略に関する情報発信と言った点でも同見本市はプラットフォームとして最適です。

ボルグワーナー社長兼最高経営責任者のフレデリック・リサルドは、「ロゴを一新し、新しい企業アイデンティティの時代を迎え、モビリティの電動化と世界のCO2排出量削減のための戦略実施にさらに集中してまいります。当社はチャージング・フォワード(Charging Forward)の目標において大きな飛躍を遂げた為、今年6月のインベスター・リレーションズ・デーで、最新の「チャージング・フォワード(Charging Forward)戦略 2027」の目標を発表しました」と述べています。

ブースで展示された最新型のシリコンカーバイド(SiC)インバーターにより、ボルグワーナーは 800V システムのグローバルマーケットリーダーとしての地位を強固なものにしています。特許取得済みのヴァイパー(Viper)モジュールを搭載したこのインバーターは、走行性能の向上、バッテリー航続距離の延長、充電時間の短縮を可能にします。

ボルグワーナーは、イー・クーラー(eCooler)、イー・ファン(eFans)、高電圧クーラントヒーター、充電ステーション、バッテリーパック、パワーエレクトロニクス、ドライブトレインシステムなど、業界をリードする電気自動車向け熱マネジメントソリューションを展示し、同社の持続可能性に重点を置いた取り組みをわかりやすく紹介します。

安全性を最大限に高める設計となっている、ボルグワーナーのイー・クーラー製品群は、様々なセル・タイプのバッテリーやパワーエレクトロニクスの冷却に使用されています。ボルグワーナーの技術は、非常に効果的な放熱で、電池や電子部品の性能向上、長寿命化を可能にします。ホール A2、ブース B11 のボルグワーナー・ブースでは、製品ラインを継続的に拡大している一連の DC 急速充電ステーションも展示いたします。

さらに、同社の幹部が「チャージング・フォワード」戦略の進捗状況や最新の「チャージング・フォワード 2027」戦略について紹介し、電動化戦略の目標などについて説明する予定です。



ボルグワーナー、IAA Mobility 2023 で新コーポレート・アイデンティティと電動化に向けた革新的ソリューションを披露する予定

## ボルグワーナーについて

ボルグワーナーは、130年以上にわたり、モビリティのイノベーションを成功に導く、変革的なグローバル製品リーダーであり続けています。すべての人にとってよりクリーンで健康的、かつ安全な未来を築くために、世界のeモビリティへの移行を加速させています。

URL: <https://www.borgwarner.com/home>

本リリースに記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれるかまたは言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の直近のForm 10-K年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第7項「重要な会計方針および試算(Critical Accounting Policies and Estimates)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、性質上、将来予測に基づくものです。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と認識を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきものではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の代表的な例として次のものがあげられます。当社または当社顧客に影響を及ぼす供給停止(受託製造会社(OEM)顧客および当社を含むそのサプライヤーに影響を与えている現在の半導体チップ不足等)、商品の入手可能性や価格及びこれらのコストに関する顧客との交渉において期待されるレベルの回収率を達成できないこと、OEM顧客を含む既存および新規競合会社との競合、急速に変化するテクノロジー(主に電気自動車関連)およびそれに対する当社の革新能力に関連する課題、新型コロナウイルスに関連する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性(さらなる生産停滞等)、電気自動車の需要予測および電気自動車売上成長率の予測の困難、ロシアのウクライナ侵攻による世界経済の潜在的混乱、買収対象を特定し許容できる条件で買収を完了する能力、買収から期待される利益の適時な実現の不実施、分割取引が意図した利益を達成できない可能性、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右され、需要縮小の可能性もある)への当社の依存性、大手OEM顧客への当社の依存性、金利の変動および外貨の為替レートの変動、様々な情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、様々な申し立てに関する訴訟を含む、既存または将来の法的手続き、または関連する訴訟を含む政府の調査の行方、当社が事業を展開している国における税金や関税などの法規制の将来的な変更、将来の買収または売却の可能性がもたらす影響、直近のForm 10-Kおよび/またはForm 10-Qの第1A項「リスク要因(Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスク、など。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

#### <報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、小野田

TEL: 070-4303-7215(中井)、090-9031-5032(小野田)

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp